

## 第 1 9 回

# 徳島県立博物館資料収集委員会

日時 平成 2 9 年 2 月 2 8 日 (火) 午前 1 0 時～正午  
会場 徳島県立博物館 応接室

平成28年度 購入希望資料

分野	資料名	時代	数量	購入相手	金額(円)
地学	竜脚類恐竜ディプロドクス前脚(実物化石)	ジュラ紀	1	株式会社ヴァイス	(税別)3,286,008 (税込)3,548,888

**総額 3,548,888 円**

本資料は、アメリカ・ワイオミング州のジュラ紀後期(約1億5000万年前)の陸成層(モリソン層)から発見された恐竜ディプロドクスの前脚(実物化石)である。ディプロドクスは、竜脚類と呼ばれる植物食恐竜のグループに含まれ、推定される全長は、20～35メートルに達する大型恐竜である。一般的に地層中から発見される恐竜化石のほとんどが、骨片のような部分化石として見つかることを考えると、本資料は、ディプロドクスのほぼ完全な前脚部であり、その稀少性は高いと言える。

平成28年7月に徳島県勝浦町で国内最古級の竜脚類恐竜の歯が発見された。本資料のディプロドクスも同じ竜脚類恐竜であり、徳島県立博物館での今後の恐竜に関する調査研究や展示等を行う上で、本資料は有効と思われる。特に本資料をとおして、来館者に徳島県で発見された竜脚類恐竜についてイメージをしてもらいやすくなると思われる。



竜脚類恐竜ディプロドクス前脚(高さ: 254cm)

徳島県立博物館資料収集委員会委員からの意見

委員	本資料の保存状態	本資料の希少性	価格の妥当性	博物館が本資料を購入する意義
石田啓祐 委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体像をイメージできるのがよい。</li> <li>・関節も残っているので、骨のイメージがよくわかる。</li> <li>・変形はなさそう。</li> <li>・地震への対応が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一見して材木のように見えても、パーツによっては海綿組織が見えるので、参考になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・類似の資料と比較しても妥当である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関節の形も残っているので、たいへんわかりやすく、同定や研究の参考にもなる標本である。</li> <li>・勝浦地域のなりたちの全体像を考える上でも役立つ。</li> <li>・勝浦産の材化石と並べてみたりすると、よりおもしろいだろう。</li> </ul>
小笠原憲四郎 副委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本物であることは間違いない。</li> <li>・しっかりした補強・接着がされている。</li> <li>・地震に耐えうる対策が必要だろう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たくさん出てくるものではない。</li> <li>・同じ方向にひび割れているので、同一個体と確認できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実物であり、妥当である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝浦盆地でも恐竜の脚などの化石が産出すれば、比較できる</li> </ul>
足立奈津子 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たいへん大きく、見応えがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宝物的な感じを受ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妥当である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実物である点で意義が大きい。</li> </ul>

以上、徳島県立博物館資料収集委員会での審議の結果、購入希望資料である「竜脚類恐竜ディプロドクス前脚（実物化石）」の購入が承認された。